

## Proposal to add two abbreviated Japanese ideographs to UAX #45

Gen Kojitani(genkjtn@gmail.com)

2024 November 12

I am requesting the addition of 2 Abbreviated Ideographs in Japanese.

### Background

In Japanese Kanji (CJK Ideographs), the “慶應(Keiō)” part of the name of a private Japanese university, “慶應義塾大学(Keio Gijuku University),” is sometimes written in the Han-Latin hybrid form 庀𠄎(𠄎广 K𠄎广 O). These two characters are included in **ISO/IEC TR 10036:2020** as No.10066927 and No.10066928(See Fig.7). This document proposes that these forms be included in Unicode.

### Proposed Character

Table 1. proposed character

No.	letter form	characters information
1	庀	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 𠄎广 K</li> <li>• The abbreviation of U+6176 慶</li> <li>• Paired with 𠄎 as an abbreviation of 慶應大学 (Keiō University)</li> <li>• also has kun-reading “yoroko-bu” (see Fig.5)</li> </ul>
2	𠄎	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 𠄎广 O</li> <li>• The abbreviation of U+61C9 應</li> <li>• Paired with 庀 as an abbreviation of 慶應大学 (Keiō University)</li> </ul>

Examples

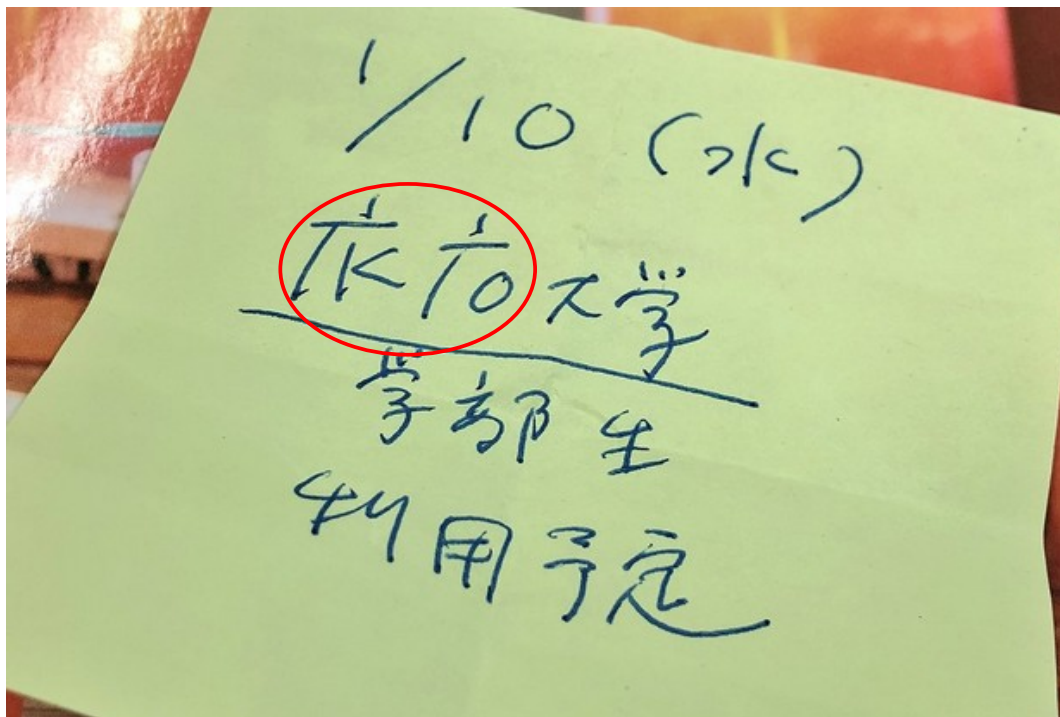


Fig. 1: “慶應大学”

This picture is posted on Twitter by @ketokate on 10 January, 2018 URL : <https://twitter.com/ketokate/status/951049551393177600>

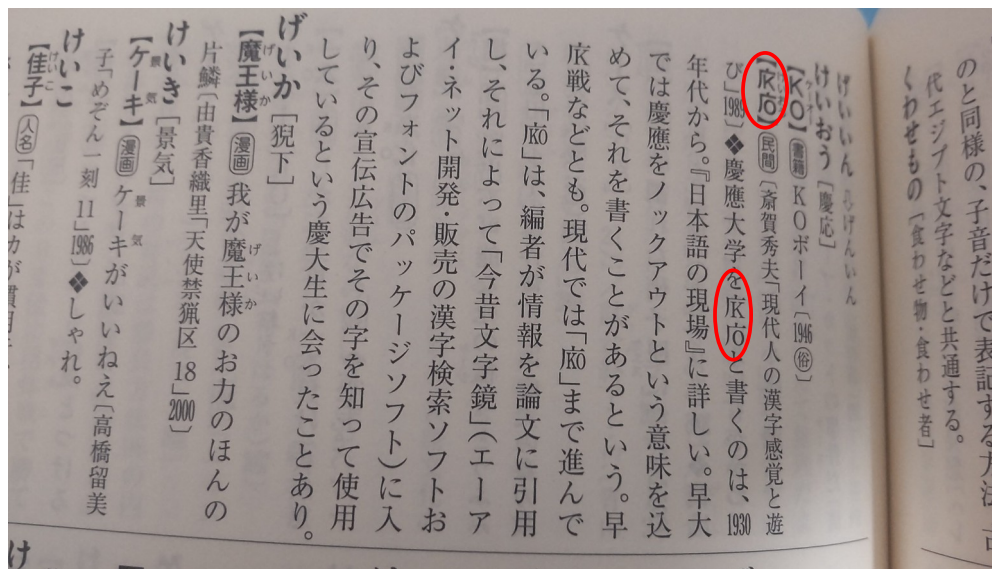


Fig. 2: 笹原宏之『当て字・当て読み 漢字表現辞典』, 株式会社三省堂, 2010, p.247

「**応**」(慶應) という異体字は、一九三六年にはすでに学生間の「はやり文字」として用いられていたことが、かつて読売新聞社会部による取材によって明らかになっている。今日でも、慶應義塾大学などの学生を中心に「**応**」や「**平**」などを用いられている。これらは、大學生のみならず、書籍中や漫画家の署名にも広がった。また、「**广**」に横書きで「**廊**」と入れる合字化の例も、少なくとも一九九三年には現れた。さらに、筆者が一九九三年に記した小論を典拠として文字検索ソフト「今昔文字鏡」がこれを採用し、パンフレットなどでも示したため、逆にそれを見た慶應義塾大学の学生が使うという新たな事例まで確認された。期せずして位相文字の普及に手を貸してしまったわけである。「**応**」の広がり方は、武家の礼服である「**かみしも**」を「**上下**」と書き、意味を明確化する、つまり表意性を強化するために「**社袴**」と衣偏を付し、さらにそれを一語一字化して合字の「**袴**」が生じた過程と符合している。

漢字の簡略化のために、前述の「**囧**」のように仮名を構成要素に代入することはすでに江戸時代にあったが、戦前のノートや孔版(ガリ版)で「**扣(控)**」「**杵(機)**」「**評(議)**」などの字が用いられている。これらの造字の方法と定着には、複数のルートがあったことが考えられる。片仮名は、「**機**」の「**幾**」から片仮名の「**キ**」が生まれたように、元が漢字の部分を抽出したものであるため、形態の上では平仮名やローマ字よりも漢字との親和性が高い。「**機**」の旁に平仮名の「**き**」を置く場合と比べれば「**杵**」には違和感が少ないだろう。

Fig. 3: 笹原宏之『日本の漢字』, 岩波新書, 2006, p.124

そして、(2) c R の例である。これらは、

- 1 慶 ↓ 庀 (例、庀庀 (慶庀))
- 2 応 ↓ 応 [ 応 ] (例、同右)
- 1 は「K」が声符、2 は「O」が声符で
- 3 確 ↓ 碇 [ 碇 ] (例、碇訖 (確認) 前掲)
- 4 認 ↓ 訖 [ 訖 ] (例、同右 前掲)
- 3 「確」は、頭子音が k で、かつ、韻尾

は、それなりに理由があると言ったことが、その意味において、ニンを表す声符に「N」

- 5 還 ↓ 还 [ 还 ] (例、返还 (返還) 前掲)
- 6 館 ↓ 館 [ 館 ] (例、本館 (本館) 前掲)
- 7 韓 ↓ 軫 [ 軫 ] (例、軫 [ 韓 ] (韓国) [ 軫 ] 前掲)
- 8 軍 ↓ 軍 [ 軍 ] (例、軍事 (軍事) 前掲)
- 9 寮 ↓ 寮 [ 寮 ] (例、寮 (寮) (寮) 前掲)
- 10 療 ↓ 療 [ 療 ] (例、医療 (医療) 前掲)
- 11 繩 ↓ 繩 [ 繩 ] (例、沖繩 (沖繩) 前掲)

Fig. 4: 蜂矢真郷「一九六五～一九七五年度頃の略字」(『国語文字史の研究』8、2005年3月、和泉書院) p.208

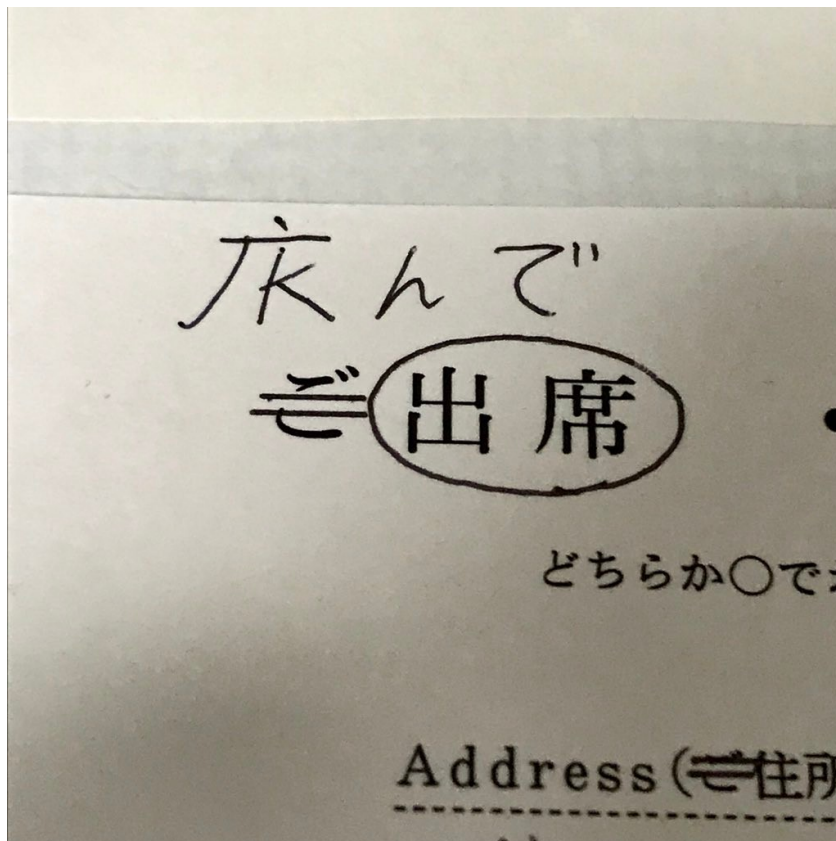


Fig. 5: “慶んで,” kun-reading example  
 This picture is posted on Twitter by @fdrbdr on 24 July, 2018 URL :  
<https://x.com/fdrbdr/status/1021665154050609153/photo/1>

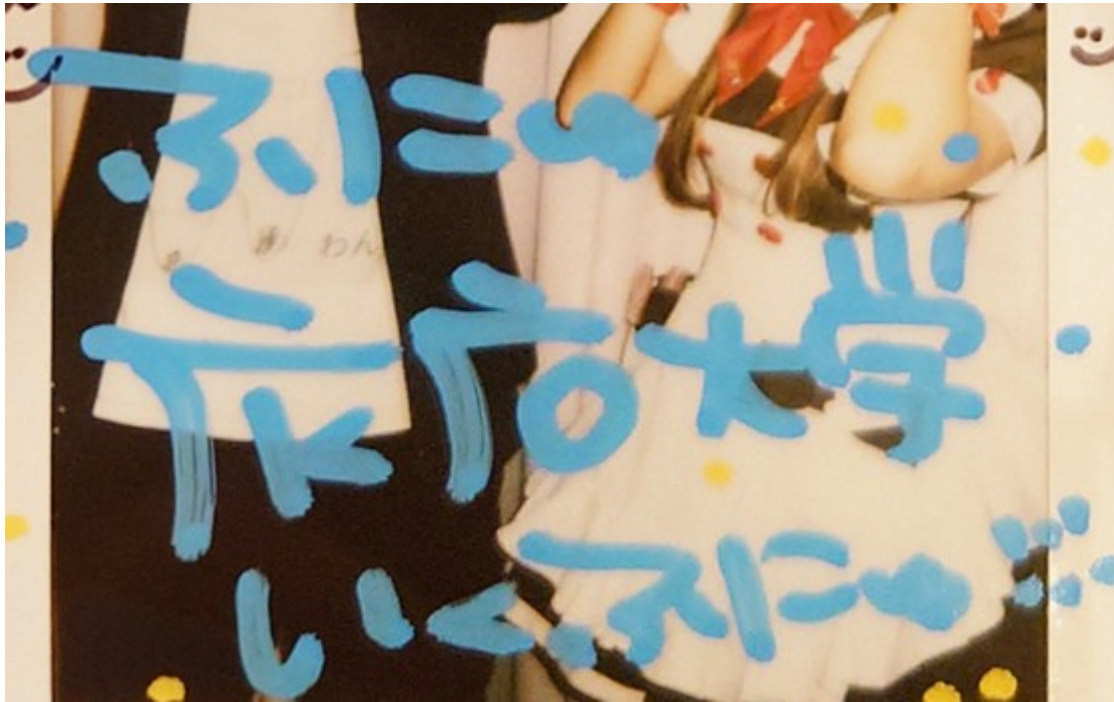


Fig. 6: “慶應大学”

This picture is posted on Twitter by @kazuyuki\_wa on 1 May, 2022 URL :

[https://x.com/kazuyuki\\_wa/status/1520669763655335937/photo/1](https://x.com/kazuyuki_wa/status/1520669763655335937/photo/1)

10066927	10066928

Fig. 7: No.10066927 and No.10066928 in ISO/IEC TR 10036:2020

## Properties

The character proposed follows the CJK Ideographs' properties and SCRIPT={HANI}.

底

Radical: 广

kRSUnicode: 53.3

kTotalStrokes: 6

kJapanese: ケイ よろこぶ

kJapaneseKun: YOROKOBU

kJapaneseOn: KEI

kSemanticVariant: U+6176

宀

Radical: 广

kRSUnicode: 53.1

kTotalStrokes: 4

kJapanese: オウ

kJapaneseOn: OU

kSemanticVariant: U+61C9

## References

1. 笹原宏之『当て字・当て読み 漢字表現辞典』, 株式会社三省堂, 2010, p.247
2. 笹原宏之『日本の漢字』, 岩波新書, 2006, p.124
3. 蜂矢真郷「一九六五～一九七五年度頃の略字」(『国語文字史の研究』 8、2005年3月、和泉書院) p.208

## Acknowledgment

I would like to acknowledge Dr. Ken Lunde and Eiso Chan for their help in preparing this proposal.